

「四郷 まちづくりのあゆみ」編さん事業

四郷駅周辺土地区画整理事業が終了し、区画整理組合が解散する際、まちづくりの経緯を後世に残すために冊子を作成し、関係住民に配布することとなりました。

組合は解散してしまうため、下古屋自治区に編さん業務の依頼とそのための資金を提供し、実施されました。その概要を以下に記します。

1 冊子のタイトルと内容

四郷まちづくりのあゆみ（よりよい我がまちをめざして）

四郷駅周辺において、先人たちが町の発展・住みよい地域づくりのためにどのような取り組みを進めてきたのか、資料や写真、回顧談などで紹介し、記録として残す。

A4版、並製本、本文64ページ、全ページカラー印刷、700冊

2 出版の目的

まちづくりの経緯を住民に広く知ってもらうことで、まち（地域）の歴史への興味を喚起し、地元への愛着を深め、まちの将来への関心を高める。

3 編さん作業

区画整理事業関係者代表と自治区役員、オブザーバーとして豊田市生涯活躍部担当（当時）による編さん委員会を組織し、編さん専門業者（「毎日新聞名古屋開発(株)」現在は「株式会社毎日名古屋開発」と改名）と連携し編さん作業をすすめた。

4 制作過程

2023年 5月	制作準備開始
2023年 10月	毎日新聞名古屋開発(株)と契約締結
2025年 3月	冊子納品
2026年 2月	WEB公開用データ納品

5 経費執行状況

寄付金額 865万円（契約金額8,481,000円+諸経費169,000円） 一般会計と別会計で処理
 （豊田市都市整備部区画整理支援課の指導のもと毎日新聞名古屋開発(株)と区画整理組合の調整の結果、寄付額が決定）

	収入	支出
2023年10月 寄付受領	8,650,000円	
2023年11月 契約締結時支払い（契約金額の20%）		1,696,200円
2024年 9月 制作中間時支払い（契約金額の40%）		3,392,400円
2025年 4月 冊子納品時支払い（契約金額の40%）		3,392,400円
預金利息の合計	677円	
2026年 2月 WEB公開用データ支払い		169,677円
計	8,650,677円	8,650,677円